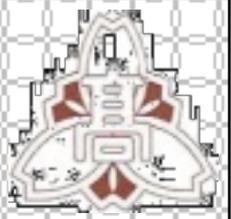


# 安来高新聞



発行所：安来高校新聞部  
〒692-0031  
島根県安来市佐久保町115  
TEL：(0854)22-2840  
FAX：(0854)22-3612

## 永井先生最後の授業

### 〜28年間ありがとう〜ございました〜

安来高校に28年間勤務された永井宏尚先生がこの三月末を持って退任された。3月22日には永井先生が副担任するクラスで最後の授業が行われ、放課後には退任式が行われた。

永井先生の最後の授業として、1年生がフェンシングの指導を受けた。日頃バレー部で鍛えている矢倉一成さんは、この日永井先生と組んで練習し「剣先がひとつも当らなかつた。マジで強え」と改めてそのすごさを実感した。

永井先生は県内で未普及の競技の選手育成のために特別体育専任教員として、フェンシングを専門に指導し、多くの功績を残した。また、永井先生の生徒を包み込むやさしさとだから愛される人柄で、先生、生徒を問わず、たくさんの人からの信頼も厚く、退任を惜しむ声が数多く聞かれた。永井先生にこれまでの教員人生を振り返り、心に残っていることを聞くと「平成2年の着任式で聞いた校歌が今でも忘れられない。当時の生徒は約千人で、その歌声を聞いた時のインパクトが強くてとても感動した。ま

た、自分の一番最初の授業が清ランだったことも心に残っている。当時から生徒と一緒に一日に何本も走った。生徒と交流しながら走れたので、とても楽しかった。皆さん、これからも清ラン頑張ってください」と生徒に笑顔でエールを送った。また、大変だったことを聞くと「新型インフルエンザが流行った奈良インターハイはとても大変だった。一人でも感染が疑われる選手がいたら帰らされた学校もあった。せつかく今まで練習してきたので最後まで試合をさせた。

てやりたいという思いで、感染しないように対策などをしたが、あの時は心配したし、とてもひやひやした」と話した。最後に安高生へのメッセージを聞くと「何事にも体力、精神力が大事なので、適度な運動を定期的に続けてもらいたい。また、運動する前にはけがをしないためにアップをしっかりし、運動し終わっても疲労回復のためにダウンをちゃんとやって自分の体を管理して行ってほしい」と話した。(葉)



熱心に指導する永井先生

今回の大会について、長い間フェンシング部を支えて来た顧問の永井先生は「受験を終えた3年生が部活に来て一緒に練習をしてくれたおかげもあり、本番当日のフルレレでは練習の成果が発揮されなかったものの、その後のエベ、サーブルではいい成績を残せてよかった」と語り「これから先、明るく自信を持ち、全国大会を目指してほしい」と部員への思いを朗らかに語った。(花)



笑顔でポーズをとるフェンシング部

フルレレ1回戦 気仙沼45・44安来  
エベ3回戦 高松北43・42安来  
サーブル3回戦 鹿兒島南45・35安来

### フェンシング

#### 第41回全国高等学校選抜大会

##### 全国5位に輝く

今回の大会について、長い間フェンシング部を支えて来た顧問の永井先生は「受験を終えた3年生が部活に来て一緒に練習をしてくれたおかげもあり、本番当日のフルレレでは練習の成果が発揮されなかったものの、その後のエベ、サーブルではいい成績を残せてよかった」と語り「これから先、明るく自信を持ち、全国大会を目指してほしい」と部員への思いを朗らかに語った。(花)

### 佐久保発

「付度《そんたく》  
去年の流行語にもなった「付度」という言葉は、だれでも1度はニュースなどで耳にしたことあるだろう。意味を調べてみると「他人の心中をおしはかること」と出てくる。(広辞苑より)「付度」といえば森友学園に関するニュースでよく耳にし、付度をするのは悪いことだというような否定的な意味でとらえられる報道が多かったが、本来の意味から見ると私たちも日常から何気なくしていることではないだろうか。私はこの言葉の本来の意味を知ったうえで、付度とは社会の中で生きていくうえで時には必要なことだと考える。他人の心中をおしはかるということができなければ、周りから先の読めない人、気が利かない人と思われるだろう。しかし、付度ばかりをして本当の気持ちを声にせず、相手の顔色をうかがいながら生きていくのはとても生きにくい。これからの新年度、新しい環境の中で友達あるいは先生との間で付度をするにはあるだろう。しかし、そこから実際にどう行動に移すのかしつかり考えなければ思わぬすれ違いが起こる可能性がある。もちろん声に出して気持ちを伝えあうことが出来れば一番いいが、日本人の性格上難しいだろう。付度もやりすぎには注意が必要だ。(友)

# 活躍の場を広げたこの春

## 吹奏楽 アルテピアに響かせる

3月18日に第34回定期演奏会がアルテピアの大ホールで行われた。約四百五十人が集まり、大盛況で幕を閉じた。部長の土江光夏さん（3年）は「意外にもたくさんの方が来てくれて嬉しかった。自分たちの今やれる精いっぱい演奏ができて、いい定期演奏会になってきた。練習期間はハードスケジュールだったが、人数が少ない中、係の分担などを

してみんなで協力して準備することができた。また、今回たくさんの方に安高吹奏部の演奏を聴いてもらい、自分たちのことを知ってもらって、これからの演奏会やコンクールで応援してくれる人が増えてくれたらうれしい」と笑顔で話した。また今回の定期演奏会は、3部構成となっており、第2部にはハマディアン・サクソフォン・アンサンブルの方々をゲストとして迎え、ステージを彩った。

（采）



野球部とコラボして演奏する吹奏楽部

## 演劇

### 情報生と合同公演

3月18日（日）しいの実シアターで行われた第23回松江地区高校演劇合同公演に、本校と情報科学高校の演劇部が合同で演劇を上演した。「修学旅行」という演目で、修学旅行中の一夜を舞台に、一室で起こる様々な友達間の問題を笑いも交えながら演じた。主役を演じた野坂美



熱演する情報と安高の演劇部

## 全国大会に挑む男子ソフトボール部

### 男子ソフトボール

#### 視野広がる全国大会

高知農業 11・0 安来



3月17日から高知県で行われた全国選抜大会に挑んだが惜しくも初戦で敗退となった。しかし監督の石飛先生は今回の大会を前向きにとらえ「全国との壁を感じたが、今までは県

内しか見ていなかったため、この大会でとても視野が広がった」と話した。またキャプテンの三上優貴さんも「レベルが違い、ピッチャーのボールがとても速かった。しかしエラーはなかった。ので速い球もしっかり打てるようにしていきたい、インターハイ出場を目標に頑張っていきたい」と今回の大会を振り返った。

（友）

## 男子バレーボール



子どもと戯れる川角純平さん（3年）

3月4日 松江のプラバホールにて「しまねシンフォネット高校オーケストラ」定期演奏会が行われた。県内6校の弦楽部、吹奏楽部が出演し、安来高校はトップを切って演奏を行った。「情熱大陸」などの曲を軽快に奏で、聴衆を魅了した。

## 弦楽

### 優雅で軽快な調べ

#### 意外な場での活躍

3月17日に松江のくにびきメッセで「はじめるスタジアム2018」というイベントが開始された。島根県バレーボール協会が設けた、子供たちの体験ブースでは、本校男子バレー部員3名がスタッフとして参加した。体験している子供の保護者の方に話を聞く

と「高校生がいい感じに子供のアシストをしてくれて楽しそうではないかと思った」と笑顔で話した。参加した仲佐蒼太さん（2年）は「子供達が元気かわいい。短い時間だったけど、一緒にやってみて子供の純粋な気持ちバレーに表れていたなと思った」と話した。

（采）

## 野球

### 刺激受けた横浜遠征



プロの試合に圧倒される野球部員

春休み中に野球部は横浜遠征に行った。「レベルの高い試合を見せてやりたい」という板垣先生の熱い思いで実現した今回の遠征。プロや大学生の試合を間近で観戦したほかに、名門、桐蔭学園や慶応高校とも試合をした。キャプテンの飯橋祐太さん（3年）は「プロと高校生の違いを感じた。いいプレーを真似して成長していきたい」と話した。

（友）

# 14人の先生方にアンケート

## 心機一転

# 新たな先生と学校生活を楽しもう

- ①教科 ②前の職場 ③年代
- ④趣味・好きなこと ⑤安高生に伝えたいこと

原 久司先生



①数学 ②大東高校  
③40代 ④小学生の  
時に覚えた将棋を最  
近に覚えた将棋を最  
近に覚えた将棋を最  
近に覚えた将棋を最  
近に覚えた将棋を最

①高校数学 ②松江  
③40代 ④赤  
⑤好きな動物・赤  
好きな動物・赤  
好きな動物・赤  
好きな動物・赤  
好きな動物・赤

築道 智美先生



原 敏行先生

①公民 ②松江工業高  
③公民 ④松江工業高  
⑤公民 ⑥松江工業高  
公民 松江工業高  
公民 松江工業高

①学校司書 ②島根県立  
③30代 ④猫(動物)好き  
⑤猫(動物)好き  
猫(動物)好き  
猫(動物)好き  
猫(動物)好き



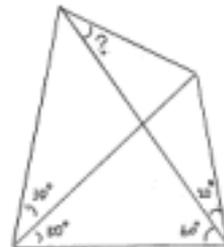
山本彩容子先生

①数学 ②出雲養護学校  
③50代 ④ス  
⑤読書(中心)  
⑥読書(中心)



横山 紀文 教頭先生

①数学 ②出雲養護学校  
③50代 ④ス  
⑤読書(中心)  
⑥読書(中心)



古川 里沙先生

①実習担当  
②出雲工業高校 ③20  
④音楽を聴くこと  
⑤パン屋さんめぐり

①英語 ②大社高校  
③40代 ④スポーツ  
⑤今を必死に生  
今を必死に生  
今を必死に生  
今を必死に生  
今を必死に生

三島 弘樹先生



作野 健一先生

①国語 ②大東高校  
③40代 ④空手道(組  
手は40代 空手道(組  
手は40代 空手道(組  
手は40代 空手道(組  
手は40代 空手道(組

①芸術(美術) ②平  
③20代 ④安高  
⑤27歳 ⑥安高  
27歳 安高  
27歳 安高  
27歳 安高  
27歳 安高



玉井 美穂子先生

①芸術(美術) ②平  
③20代 ④安高  
⑤27歳 ⑥安高  
27歳 安高  
27歳 安高  
27歳 安高



渡辺 大介先生

①保健体育 ②代  
③30代 ④熱帯魚・観葉植物  
⑤歌うこと  
⑥歌うこと



星野 清香先生

①数学 ②出雲養  
③30代 ④スポーツ観戦  
⑤皆さんと楽し  
皆さんと楽し  
皆さんと楽し  
皆さんと楽し  
皆さんと楽し



江谷 佳世先生

①国語 ②浜田市立  
③40代 ④芸術鑑賞  
⑤絵や音楽  
⑥絵や音楽

須山 訓至さん

①事務 ②代  
③30代 ④映画鑑賞  
⑤送る  
⑥送る



引野 恭也先生

①数学 ②松江農林  
③20代 ④読書・楽器・運動  
⑤読書・楽器・運動



# 安来から世界に広めた平和への願い

## 43通の手紙に想いを託した画家・加納莞菴



莞菴の想いを熱く語る佳世子さん

兵士の死を目の当たりにした莞菴にとつて古瀬氏の言葉は共鳴できるものがあり、また古瀬氏の人格、人となりの大きさも感じていた。

### 恒久平和を求めて

3月29日、私たちは安来市広瀬町にある加納美術館を訪れた。そこで私たちは、加納莞菴(本名・辰夫、一九〇四〜七七年)が行った平和活動について、莞菴の娘である佳世子さんにお話を伺った。

### 人生を変えた

#### 古瀬氏との出会い

莞菴は能義郡布部村出身の画家であり、戦前は小学校教諭として勤め、戦時中は従軍画家として戦場に渡り戦争の状況を描くなど数多くの経歴をもつ。そのような莞菴が平和活動を始めるとききっかけとなったのが、フィリピンでの戦争から帰還し

た古瀬貴季元海軍少将との出会いだ。特攻隊の司令官であった古瀬氏は「未来ある青年たちを死に追いやったことは今私の負うべき罪であり、万死に値することだ。今、このことが日本国民に十分反省され、改められなければ再び日本をただしめることはできません」と、思いの丈を莞菴に話した。戦場で多くの若い

罪あり」と堂々と罪を認め、銃殺刑の判決を受けた。これを知った莞菴は、戦争の罪、命の貴さを重く受け止める古瀬氏の言動に強く心を動かされたのだ。そして、古瀬氏こそこれからの日本再建に必要な存在だと考え、嘆願活動に踏み切った。嘆願活動を開始した莞菴は、フィリピンのエルピディオ・キリノ大統領に日本人戦犯の釈放を求めて嘆願書を送り続けたが、第1・2・3書簡に対する返答はなかった。実はキリノ

大統領は、妻子を含む親族9人を日本兵に殺害されていたのだ。この事実を知った莞菴は、第4書簡において「閣下の手から残酷にも奪い取られた愛児の名において―赦し難きを赦す―この奇跡が現れることを待ち望むところでありませう」と嘆願し、ついにキリノ大統領は日本人戦犯の釈放を決定した。キリノ大統領は、憎悪を次の世代に引き継ぐまいと、「憎しみの連鎖」断つたのだ。これはキリノ大統領が、未来の平和を実現するために下した大きな決断であった。そして一九五三年、古瀬氏を含めた全ての戦犯が赦免された。最終的にキリノ大統領に送った手紙は43通に及ぶ。2人が亡くなった今でも、この2人の平和に対する願いは語り継がれている。(亜)



莞菴の描いた「紫陽花」

## 69期卒業生の進路状況

民間	公務員	合計	進学												
			国公立	私立	公立	私立	高専	他	文科学 管轄外	進学 準備他					
7	1	8	4	0	3	5	4	1	3	1	2	2	0	3	6

### 進路決定状況

#### 国公立大学

- 高知大学 1名
- 鳥取大学 2名
- 島根大学 9名
- 岡山大学 3名
- 宇都宮大学 1名
- 島根県立大学 14名
- 下関市立大学 1名
- 尾道市立大学 1名
- 山口大学 1名
- 香川大学 1名
- 信州大学 1名
- 鳥取環境大学 2名
- 岡山県立大学 1名
- 福山市立大学 1名
- 山口東京理科大学 1名

#### 私立大学(一部)

- 同志社大学 1名
- 日本大学 3名
- 龍谷大学 1名
- 関西学院大学 1名
- 福岡大学 2名
- 他

H29年度 合格実績(延べ数)



## 絵画に込められし想い

加納美術館にある、沢山の青い紫陽花(あじさい)の端に一輪のピンクの紫陽花がある絵。この絵はもともと出雲市の多伎中学校に飾られていたもので、莞菴の絵があると聞いた佳世子さんは中学校に確認しに行つた。絵の裏にはサインと一緒に完成日が書かれていた。その完成日はキリノ大統領が、恩赦令を出した年の7月の日付だった。莞菴はキリノ大統領への手紙に、赦してもらえないで、この絵は莞菴がキリノ大統領へ手紙を書き始めてから後、初めて描かれた特別な絵だということが判明した。佳世子さんは紫陽花の絵を美術館に飾らせてもらうことにした。私は、この話を聞く前は、ただ単に迫力のある綺麗な絵だと思っていた。

た。しかし話を聞いた後、沢山の青い紫陽花は莞菴や莞菴と同じ気持ちを持っていて日本人、一輪のピンクの紫陽花はキリノ大統領を表していると感じるようになった。なぜそう思ったか、それはすべての紫陽花が一塊で存在していることが、莞菴とキリノ大統領が国境、立場関係なく同じ世界平和への強い意志を一緒に持つことができていることを表しているように見えたからだ。正しい絵の意味は分からないが、私はこの紫陽花の絵には、世界平和への思いが込められていてと思う。ぜひ美術館に行き、絵を生で見て絵の意味を考えてほしい。莞菴の世界平和への強い思いを沢山の人が知って沢山の人の世界平和への意識が高まればいいと思う。(花)